

報道関係者 各位

2019 年 9 月 19 日

野原ホールディングス株式会社

設計士の労務状況に大きな課題

6 割以上が「発想のための時間を“業務時間外”で確保している」と回答

業務の効率化には「デジタル化」を期待

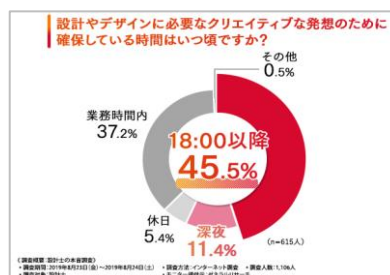
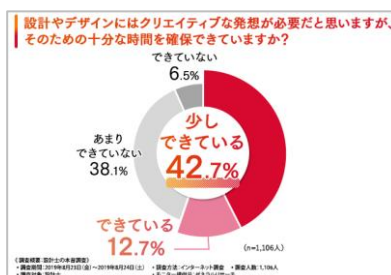
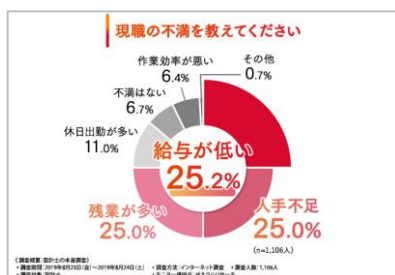
野原ホールディングス株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔)は、設計士 1,106 人を対象に「設計士の本音調査」を実施しました。

2019 年 4 月 1 日より、働き方改革関連法案(※1)の一部が施行され、働き方改革は大企業だけではなく中小企業にとっても重要な経営課題のひとつとして世の中に認知されてきています。

しかし、厚生労働省の統計調査によると、建設業界は一般の職種・業界や製造業と比較しても労働時間が長く、年間出勤日が多いという状況にあります。また、労働生産性についても、全産業・製造業ともに向上しているものの、建設業界は 10 年以上改善が見られていないというのが現状です。(※2)

調査結果 | 3 つのポイント

建設業界の中でも残業が多く、労働時間の管理が難しいと言われている設計士。今回の調査でも、設計士の労務状況に大きな課題があることが分かりました。(調査結果の詳細は、別紙参照)

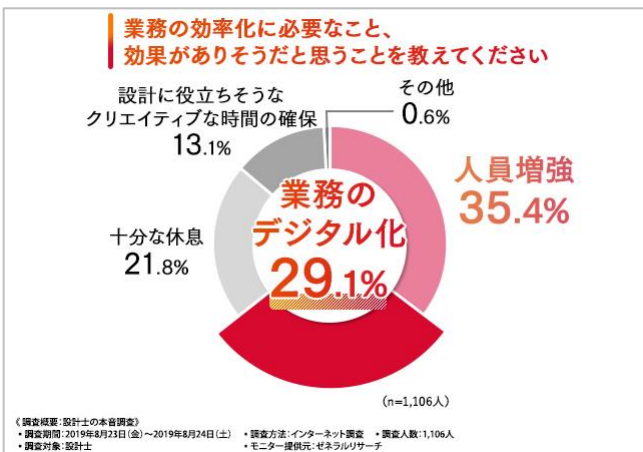


1. 現職の不満のトップ3は、「給与」(25.2%)、「人手不足」(25.0%)、「残業」(25.0%)

2. 発想の時間は 18 時以降の「業務時間外」が 6 割
設計やデザインに必要な「クリエイティブな発想のための十分な時間」を確保できているのは半数以上。しかし、その時間帯は、「18:00 以降 (45.5%)」「深夜 (11.4%)」「休日 (5.4%)」の業務時間外が 6 割以上。

ただし、設計やデザインに必要な「クリエイティブな発想のための十分な時間」を確保できていない方及びあまり確保できていない方も踏まえると、発想の時間を業務時間内に確保できていない割合が 8 割にも及ぶと考えられます。

3. 効率化のためには「業務のデジタル化」がカギ



<調査概要>

【名称】設計士の本音調査

【調査期間】2019 年 8 月 23 日(金)～2019 年 8 月 24 日(土)

【調査方法】インターネット調査

【調査人数】1,106 人

【調査対象】設計士

【モニター提供元】ゼネラルリサーチ

(※1) 働き方改革関連法、正式名称「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」または働き方改革一括法は、日本法における 8 本の労働法の改正を行うための法律の通称。働く方々がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現する働き方改革を総合的に促進するため、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保等のための措置を講じます。

(参照：厚生労働省公開データ)

(※2) 労働生産性＝実質粗付加価値額(2005 年価格) / (就業者数×年間労働時間数)

資料出所：内閣府「国民経済計算」、総務省「労働力調査」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

労務状況改善のために、業務の効率化では「デジタル化」がカギ

前述のとおり、本音調査では、設計士の労務状況改善のために業務の効率化に期待していることとして、「人員増強」(35.4%)や「業務のデジタル化」(29.1%)が挙げられています。しかし、建設業界は高齢化と人手不足が深刻化しており、即時の人員増強は容易ではありません。

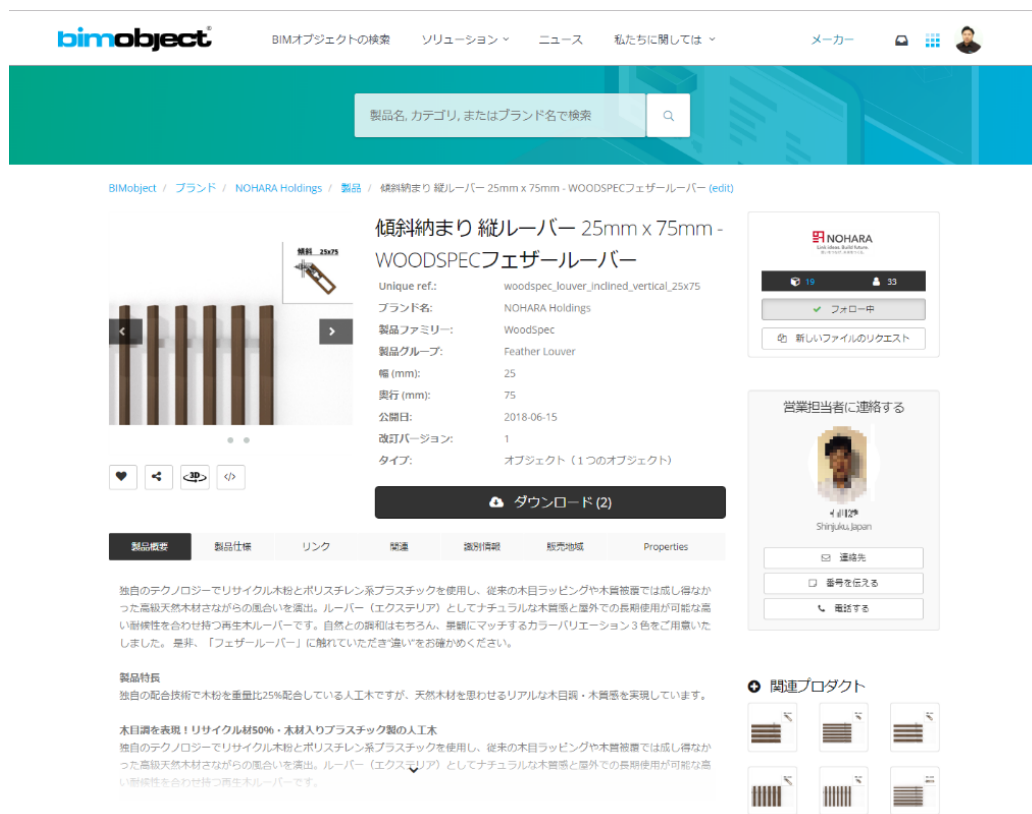
一方で、約3割の方が回答した「業務のデジタル化」は、システムの導入により比較的容易に実現可能です。

野原グループのBIMobject Japanが運営する「BIMobject® Cloud Solution」は、世界の建設資材や設備等のメーカー製品のBIMコンテンツ(製品のデジタルデータ)を掲載する世界最大のプラットフォームです。BIMを使った3D設計など、三次元で建設プロジェクトのプロセス管理を効率的に行う手法の一つとして、建築家、エンジニア、設計者などのBIMユーザー(利用者)に使用頻度の高いオブジェクトデータを提供しています。

＜設計士の業務に効果的な5つの特長＞

- ①「BIMobject® Cloud Solution」に会員登録するだけで、無料で利用開始。世界の登録会員数は140万人！
- ②世界で1,400社以上のメーカー・ブランド製品のBIMオブジェクトを24時間どこからでも無料ダウンロード
- ③プラグインアプリ(無料)を利用すると、ARCHICAD・Revit・SketchUp・Vectorworks およびAutoCADの設計画面上で、BIMobjectクラウドのメーカー・ブランド製品のBIMオブジェクト検索、ダウンロード、図面データへのインポートが可能
- ④掲載情報は常に最新。
- ⑤製品情報に不明な点があれば、「BIMobject® Cloud Solution」を通じて、24時間どこからでも直接メーカー担当者に問い合わせ可能

▼「BIMobject® Cloud Solution」の画面イメージ



▼BIMobject® Cloud Solutionを体験してみる
<https://www.bimobject.com/ja>

野原ホールディングス株式会社について

2017 年、創立 70 年を迎えた野原グループは、これまで建設業界を中心に建材や鉄鋼関連およびセメントなどの建設資材、道路交通標識などの販売・施工を通して、事業を拡大するとともに、時代の変化に合わせた変革や創造を繰り返しながら成長してきました。

近年は、「Innovation」・「Digitalization」・「Globalization」をキーワードにユニークな事業の創出を目標に掲げております。プロ向け建材通販サイト「アウンワークス」や建設情報のデジタル化を目指す新会社「BIMobject Japan 株式会社」、グッドデザイン賞受賞商品のみを販売する国内初のデザインショップ「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」、特別な思いと時間をシェアする場所「レンタルキッチンスペース Patia」、新しい表現を模索する人たちのための、自由な発想に寄り添う壁紙ブランド「Wh0」など、新規事業を展開しています。

【会社概要】

野原ホールディングス株式会社

本社：東京都新宿区新宿 1-1-11

設立：2017 年 1 月 5 日

資本金：4 億 8,000 万円

代表取締役社長：野原 弘輔

▼会社ホームページ

<https://www.nohara-inc.co.jp>



【BIMobject® Cloud Solution に関する問い合わせ先】

BIMobject Japan 株式会社

japan@bimobject.com

【本リリースに関する問い合わせ先】

社長室(担当：齋藤、中島)/ TEL：03-6328-1576